

令和 7 年度就職先調査 報告書

進路支援委員会

対 象：卒業生が就職している企業・法人（卒業生の上司等）

実施時期：健康スポーツ専攻（R7年 8 月）、こども専攻（R7年 8 月）、現代ビジネス専攻（R7年 8 月）

実施方法：教職員が就職先企業・法人（各専攻 1 社）を訪問し、卒業生の上司等に半構造化によるインタビュー調査を実施した。調査は、以下の内容について尋ねた。

1. 大学 DP を満たす人材かどうか ※
2. 採用時から現在の卒業生の成長・変化
3. 卒業生の評価できる点、強み
4. 卒業生の課題
5. 大学生に求める能力
6. 至誠館大学の就職支援について
7. その他

※「1. 大学 DP を満たす人材かどうか」については、各設問について「期待以上である」「期待通りである」「期待したほどではない」「期待外れである」「分からない」の 5 段階で回答を求めた。

【調査結果】

1. 大学 DP を満たす人材かどうか

内 容	健康スポーツ 専攻	こども専攻	現代ビジネス 専攻
仕事を理解するための常識が身につけていましたか	期待通り	期待通り	期待通り
専門的な知識や技術を身につけていましたか	期待したほど ではない	期待したほど ではない	期待通り
よく考えて適切な判断ができていますか	期待通り	期待外れである	期待通り
自分の考えをわかりやすく発言できていますか	期待通り	期待以上	期待通り
誠実に・主体的に業務に取り組んでいますか	期待以上	期待通り	期待通り
職場でコミュニケーションが取れていますか	期待通り	期待以上	期待通り
報連相を心がけるなど、協調的に行動できていますか	期待以上	期待したほど ではない	期待通り

2. 採用時から現在の卒業生の成長・変化

健康スポーツ 専攻	・礼儀の面で大きな成長が見られる。以前は歩きながら挨拶をする場面もあったが、現在では立ち止まって丁寧に礼をする姿勢が身についてきている。また、入社当初はやや形式的な印象も見受けられたが、最近では少しずつ自然体での振る舞いが見られるようになってきた。
こども専攻	・昨年度はグループホームでの関わりが持てるようになり、今年度はさらに積極的な関わりが見られるようになった。施設の方針や考えを理解し、それを踏まえて行動できるようになってきている。
現代ビジネス 専攻	・職場の雰囲気にも慣れ、本人も落ち着いて仕事をこなしている。 ・成長がみられる点としては、来客対応において一人で対応できる場面が増えたことが挙げられる。 ・これまでのところ順調だが、本当に忙しくなる年末の時期以降に真価が発揮されると期待している。

3. 卒業生の評価できる点、強み

健康スポーツ 専攻	・評価できる点は、愛嬌があるためお客様からお褒めいただく回数が増えた。笑顔が素晴らしい。
こども専攻	・コミュニケーション能力は高いと感じる。 ・また、子どもに対する支援力は十分に備わっている。
現代ビジネス 専攻	・分からないところは周囲に聞き、トラブルがなく安心して見ていられるところ。 ・無理に1人でやろうとしてトラブルを起こさないところが良い。

4. 卒業生の課題

健康スポーツ 専攻	・丁寧な言い回しを意識しすぎるため。言葉遣いに不自然さがみられる。
こども専攻	・先のことを考えた、広い視野で物事をみること。
現代ビジネス 専攻	・コミュニケーション面においては、より主体的に関わる姿勢が求められる。 ・業務の合間など手が空いている際には、「何かお手伝いできることはありますか」といった声かけをもう少し積極的に行うと、周囲との連携がより円滑になることが期待される。

5. 大学生に求める能力

健康スポーツ 専攻	一般的な読み書き（特に漢字）をできるようにしていただきたい。また、敬語についてもしっかりと身につけた状態で社会に出るべきだと考えられる。営業という職業上必須のスキルであるはず。
こども専攻	- 困った時に職員に助けを求める。我慢する必要はない。 - 支援者であることの自覚を持って欲しい（区別や線引きが必要）。
現代ビジネス 専攻	- どの団体や部署も組織で動いているので協調性がある人。 - タイパ、コスパを重視しながらも、必要なことは時間をかけて丁寧に仕事をしてほしい。 - 業務にかかる知識が吸収できる能力。現在、本業務においても紙ベースからAIなどを活用した自動化が進みつつあり、時代の変化に対応できる能力を身につけた方がよい。また、データの扱いも活発になっている。

6. 至誠館大学の就職支援について

こども専攻	日頃の関係性から就職につながっている。
現代ビジネス 専攻	公安職育成コースや公務員対策など、学生の希望に合わせた取り組みに好感が持てた。

7. その他

健康スポーツ 専攻	本社には、今年度入社した職員のほかに、卒業生2名も在籍しており、現在3名が勤務している。いずれも素直で誠実な人柄であり、向上心を持って真摯に業務に取り組んでいる。
こども専攻	保育士資格を取得する中で、製作などの技能や子どもに向き合う際の実技は役に立っている。
現代ビジネス 専攻	学生がマラソンなど地域のボランティアなどに積極的に参加し、地域への貢献が大きいことや様々な活動を通して地域になじんでいることに好感を持っている。

8. 今後の教育活動に役立てるための検討内容

健康スポーツ 専攻	- 運動部に所属していた経験もあり、仕事に対する姿勢は真摯で、上司や同僚とのコミュニケーションも良好に取れていると感じられる。一方で、一般常識とされる漢字の読み書きや敬語の使用については、やや課題が見受けられる。 - 以上の点から、本アンケート調査を通じて、漢字の読み書きや敬語の使い方といった国語教育の充実・強化が求められている可能性があるかと推察される。
--------------	--

こども専攻	・資格に関わる知識・技術は、大学時代に培った力が職場で活かされている様子である。自分の意見を発言できる力は、こども専攻での学生の主体性を重視する学びを反映していると言える。しかしながら、職場は様々な世代、考え方の人と協働する場であるという意識が低いと感じられた。学生時代から協働意識の育成等、実践的に取り組む必要性がある。 ・今後、キャリア教育として学生時代から報連相の指導、メモを取る習慣、期日を守るなど社会人としての基本的マナーについてもさらに重点的に取り組みたい。
現代ビジネス専攻	・入職からまだ3，4カ月ではあるが期待通りに仕事をこなしており、分からないところは周囲に聞くなどトラブルもなく安心であるという評価が得られた。 ・本専攻では今後も、学生が知識を身につけ、授業や与えられたタスクへの確実な実行を通して、人の話を聞く姿勢や協調性を身につけるよう促していきたい。さらには今後、専攻のキャリア教育として、仕事の実践がイメージできる機会を増やし、社会や組織への理解を深め、社会における組織の一員としての積極性、適応力、応用力を養う必要があると考える。このような力を「キャリアデザイン入門」、「基礎ゼミ」、「現代ビジネス専攻」、「現代ビジネス研究」等において養っていきたい。